

Title: 「FWH記」



橋 武佐志
人間として、写真家としてひとまわり成長する旅にしたいです。

● 最近のエントリー

- ☑ [中国へ](#)
(2010.07.28)
- ☑ [ネパールへグループ写真展へ](#)
(2010.07.12)
- ☑ [ガラダギー2](#)
(2010.07.12)

● アーカイブ

- ☑ [2011年06月](#)
- ☑ [2011年01月](#)
- ☑ [2010年11月](#)
- ☑ [2010年10月](#)
- ☑ [2010年09月](#)
- ☑ [2010年08月](#)
- ☑ [2010年07月](#)
- ☑ [2010年06月](#)
- ☑ [2010年05月](#)
- ☑ [2010年04月](#)
- ☑ [2010年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future



μ TOUGH-6020

RSS 2.0

「FWH記」 > 2010年07月 アーカイブ

10.07.28

中国へ

[Tweet](#)[Check](#)

ネパールを後に中国へ入国しました。
ネパールでもたくさんの方々にお世話になりました。



ネパールでの写真展時の宿泊先の確保、撮影のコーディネーターをして頂いたアショカさん。彼の人脈は凄いの一言!!!
写真展時の宿泊先のオーナーさんは彼の息子さんの友達で、1泊だけのカトマンズのホテルのオーナーさんは彼の友達だそうで宿泊費も大分割り引きして頂きました。本当にありがとうございました。
またいつの日かグループ展のメンバーでネパールを訪れたい!!!
そんな国ですネパールは。



局長もネパールでお別れです。
ネパール滞在中に連れて行って頂いたそば屋。最高!!!
ネパールであんなに美味しいそばが食べれるなんて・・・。
感無量です・・・。
ありがとうございました。

じえうfdh.jpg

また中国に入国後、マレーシア、インド、ネパールとご引率頂いた怪盗・・・斉藤先生ともお別れです。
FWの私たちの誰よりもアクティブに行動されていた斉藤先生。
午前2時3時まで語り明かしたあの日。
二人で撮影に行ったあの日。民家の屋根の上で飛行機を待ち過ごしたあの1時間。

適当な会話で過ごした日々。ファイアースード!!!
本当にお世話になりました。ありがとうございました。
また韓国でお会いできるのを楽しみにしています。



そして中国からはNKCの佐藤さんに引率をして頂きます。
佐藤さんには韓国、台湾と引率をして頂きまして、再びお会いするのは約3ヶ月ぶりのことでした。
よろしくお願ひします。
ヘルニアで腰を痛めておられるようですが、どうかご無事で!!

次のブログでラサでの写真をアップします!!
それでは。

カテゴリ:

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.07.28 | [パマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FW日記」 > 2010年07月 アーカイブ

10.07.12

ネパール〜グループ写真展〜

[Tweet](#)

[Check](#)

FWの一つの目玉でもある『グループ写真展』。
穂積、谷本、矢野、橋のグループはネパールのカトマンズから東に15km離れたバクタプルという都市で写真展を行いました。
BJLI(Bhaktapur Japanese Language Institute)の菅さんのご協力を得て開催することができました。
BJLIの菅さん本当にありがとうございました。
以下写真でグループ展の様子を紹介していきます。



BJLI





上：写真展のチラシをレストランの壁に貼らせてもらいました。
下：写真展準備中の矢野と子供達



写真展準備完了



グループ展オープン！！



左：BKLIの先生がたくさんの方の大学生を連れてきてくれました。
右：一匹の犬も来てくれました。



グループ展に局長と斉藤先生もかけつけて下さいました。



BKLIの皆さんと記念写真。



BJIの職員の皆様さん。



3日間の写真展終了後BJIの皆様さんが打ち上げパーティーを開いて下さいました。
お別れにプレゼントを頂きました。

3日間のグループ展来場者数は1500人以上と一匹！！
当初の目標は500人だったので本当に嬉しかったです。
お客さんも写真に興味を持ってくれ、
『キレイな写真だね。』『僕たちにはワンダーランドだ！！』『日本の寺院なども見たかったなあ』
など様々な感想を頂きました。
中には『私の会社のオフィスに飾るので、写真展が終わったら写真を買ってくれないか。』
と言う人まで。
本当に大勢の方達が足を運んでくれました。
それもこれもBJIの皆様さんのご協力がなければここまでの写真展はなし得なかったはずですが、
本当にありがとうございました。
バクタブルでの写真展が2回3回とBJIの皆様さんと続いていくように願っています。

6期生以降のFWの皆様さん！！
グループ写真展はネパールのバクタブルはいかがでしょうか？

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.07.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

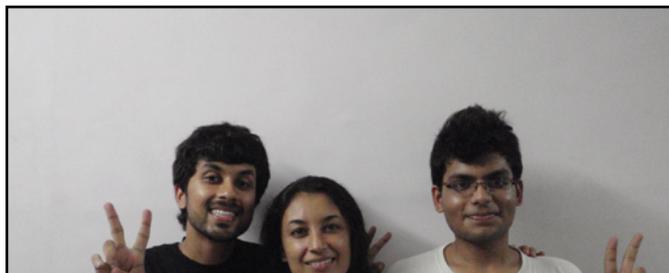
[「FW日記」 > 2010年07月 アーカイブ](#)

ダラヴィー2

[Tweet](#)

[Check](#)

ブログ更新滞っていました。
すみませんでした。
遅くなりましたがインド：ダラヴィーでの日々のブログを更新させて頂きます。





ガラヴィースラム撮影においてお世話になりましたフォトグラファーのバルンさん一家の皆さんです。

(左からバルンさん、お母さん、弟さんです)

皆さんのご協力がなければガラヴィー撮影はできなかったとおもいます。本当にありがとうございました。

さてガラヴィーの日々ですが一言でいうと楽しかったです。

一人の友達、知り合いができるのとクモの巣のように友達の輪が広がっていき、様々な場所で撮影ができました。撮影にご協力頂いたガラヴィーの人々にも感謝しています。ありがとうございました。

撮影していて思ったことは状況が日本の高度経済成長期に似ているということです。

日本の高度経済成長期には日本各地から人々が出稼ぎに大都市に向き、日本の経済を支えていました。今のインド：ムンバイもインド国内はもとより、ネパールや近隣諸国からも出稼ぎに来ている人々がいます。

彼らはオイル缶やペットボトルのリサイクル、運搬時に使用するダンボールの組み立てなどの仕事をしています。(それだけではありませんが)

リサイクルする理由はコストダウン、時間短縮のためです。

リサイクルされたそれらは再び使用されます。

経済成長を続けるインドを支えているのはガラヴィーの人々と言っても過言ではありません。

今の段階でガラヴィーを納得いくまで撮影できたかと言われるとNOです。

30%・・・20%・・・10%・・・どの程度までガラヴィーを理解できたのかわかりません。

まだ知らないガラヴィーがが私を待っているはずです。

めちゃくちゃ撮影したい!!!

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.07.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)